



発行日：2023 年 11 月 30 日（会員専用版）

発行：一般社団法人山口県社会福祉士会
編集：一般社団法人山口県社会福祉士会事務局
〒753-0072
山口市大手町 9-6 山口県社会福祉会館内
TEL：083-928-6644
FAX：083-922-9915
HP 〈<https://yamaguchicsw.com/>〉
Mail 〈yamashashikai@clock.ocn.ne.jp〉

Joy'n

会報第 38 号



第29回定時社員総会&講演会 先行予告



2024年3月23日（土）13:00 より、山口県セミナーパーク大研修室において、第 29 回定時社員総会を開催いたします。3 月の定時社員総会では、来年度の事業計画および収支予算に関する審議が行われます。

総会終了後の 15:00 より、第一期中期計画（2020～2024 年度）の目標の一つである「専門性の向上」に焦点を当て、「ジェネラルな視点を持つソーシャルワーカーの育成に向けた研修」と題された講演会を開催いたします。今回は、第2弾として「地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク実践力養成」をテーマに掲げ、「地域アセスメント、ネットワーク構築、地域での支えるための体制構築」などについて学ぶ内容で講演が行われます。なお、2023年3月25日開催した講演会「地域社会の実現に向けたソーシャルワーク」と「アドボカシーと意思決定支援を考える」の続編として企画されています。

厚生労働省社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会がまとめた報告書「ソーシャルワーク専門職である社会福祉士に求められる役割等について」によれば、地域共生社会の実現に向けては、社会福祉士に包括的な相談支援体制および住民主体の地域課題解決体制の構築に必要な実践力が求められています。現在の社会福祉士には、速やかに地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク専門職としての役割を果たすことが求められています。

講演会はハイブリッド形式で、会員限定かつ無料で開催されます。自己研鑽の一環として、ぜひご活用いただきますようお願いいたします。2024年2月29日発行予定の会報とともに、総会議案資料集などをお届けいたしますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

Contents			
第29回定時社員総会&講演会 先行予告	1	各種登録募集中	9
ブロック活動部 活動のご案内	2	住所・氏名・変更届について	10
公益事業部 活動のご案内	4	会員のしおり	10
ブロック活動部 活動報告	5	最新情報を入手しよう	11
公益事業部 活動報告	7	皆様と共に歩み続ける会へ	11
委託事業部 活動報告	8	会費について	11
e-ラーニング講座について	9	会員入会状況・行事予定について	12



ブロック活動部

活動のご案内



◆ブロック活動のねらい

本会では、県内を複数のブロックに区分し、そのブロックを単位として会員の組織化と相互交流・研鑽をおし進めることにより、身近な地域で活動できる場を作り、そのブロックの実情に即した独自の事業を展開し、地域福祉サービスの推進と向上に寄与する活動を実施しています。

◆所属ブロック以外への参加 OK

本会では、事務管理上、会員の住所地を所属ブロックとしています。所属ブロック以外のブロック活動にも参加することは出来ます。

◆参加費

○山口県社会福祉士会 正会員、賛助会員：無料

○非会員：参加費あり

◆各ブロックの年間計画

ブロック活動の年間予定は、以下の通りです。ブロック活動の年間計画の内容（開催日、場所、時間、内容など）は変更する場合があります。また、未定の内容や詳細については、本会ホームページや会員専用メールなどでお知らせいたします。

下関市ブロック

▼【日時】2月【内容】研修会

▼【日時】未定【内容】他団体との共同研修会

▼【日時】未定【内容】新入会員歓迎会&会員交流会

宇部市ブロック

▼【日時】未定【形式】オンライン【内容】EPA（従業員支援プログラム）での社会福祉士の役割について考える

▼【日時】未定【内容】新入会員歓迎会&会員交流会

▼【日時】未定【内容】会活動オリエンテーション

萩市・長門市・阿武町ブロック

▼【日時】12/8（金）18:30~20:00【形式】オンライン【内容】「地域連携室・医療ソーシャルワーカーの役割について」【講師】田村和彦・松尾義之（長門総

合病院 医療ソーシャルワーカー）【参加費】会員・賛助会員：無料、非会員：500 円

【申込フォーム URL】

<https://ws.formzu.net/fgen/S2731/>



【詳しくは】ホームページをご覧ください。

山口県社会福祉士会 萩市・長門市・阿武町ブロック研修会

地域連携室・医療ソーシャルワーカーの役割について

【日時】令和5年12月8日（金）18:30~20:00

【講師】長門総合病院
医療ソーシャルワーカー 田村和彦氏・松尾義之氏

【形式】Zoom ミーティング
オンラインに關する通信機器や通信環境の費用は自己負担となります。通信機器のトラブルなどは、保証しかねますので自己責任のもとご使用・ご参加ください。

【参加対象】社会福祉士等



お申込み方法・締め切り
12/5（火）12時までに、所定の申込フォームから、お申込みください。
※お預かりした個人情報は、本事業の運営目的以外では使用いたしません。

<https://ws.formzu.net/fgen/S2731/>

お申込みから参加まで
①所定のフォームからお申込みください。
②申込フォームでの受付後、ご登録いただいたメールアドレスに申込受付メールが自動返信されます。会員以外の方には、参加費についてメールでお知らせいたします。
③申込締切後に、ご登録いただいたメールアドレスに参加用URLなどをお送りします。

山口県社会福祉士会
所属会員 無料
会員以外の方 500 円

お問い合わせ 山口県社会福祉士会事務局
TEL:083-928-6644 FAX:083-922-9915
メール yamashashikai@clock.ocn.ne.jp

▼【日時】1月~3月【内容】研修会（外部講師）

▼【日時】検討中【内容】新入会員歓迎会&会員交流会

山陽小野田市ブロック

▼【日時】調整中【形式】集合【内容】調整中

【お知らせ】LINEオープンチャットを始めました！

二次元コードを読み取ると「社会福祉士会 山陽小野田市ブロック」と表示されます。読み込まれた後に「名前（所属※任意）」を記入ください。オープンチャットでは、主に山陽小野田市ブロックでの定例会のご案内を行います。ぜひ、オープンチャットにご登録ください。



山口市・美祢市ブロック

▼【日時】1月未定【内容】会員のお仕事紹介Part7
講師：「（仮）事務局のお仕事について」吉村真（本

会/事務局次長) 他1名打診中

【お知らせ】グループLINE始めました♪

LINE公式アカウントではありません。二次元コードを読み取ると「えだ」と表示されます。お友達登録後、名前もしくはスタンプ等のメッセージを送って下さい。グループLINE「山口・美祢ブロックLINE」(仮)から招待させていただきます。グループLINE登録確認後に「えだ」に送られた個人アカウントはブロックさせていただきますので予めご了承下さい。



周南市・下松市・光市ブロック

*他団体・防府市ブロックとの共催企画

▼【日時】(2回目)12/16(土)14:00~15:30

【内容】ヤングケアラーケアフル勉強会(2回目)ワークショップ『ヤングケアラーの支援について具体的に考えてみよう!』【講師】岩金俊充(認定社会福祉士(児童・家庭分野)/公認心理師)

▼【日時】未定【内容】新入会員歓迎会&会員交流会

▼【日時】未定【内容】会活動オリエンテーション

【お知らせ】友だち登録おまちしております♪

LINE グループ「YSW 周南・下松・光ブロック」

*LINE 公式アカウントではありません。

二次元コードを読み取ると『Tomo』と表示されます。お友達登録後、お名前等のメッセージを送ってください。グループLINEにご招待させていただきます!



防府市ブロック

*他団体・周南市下松市光市ブロックとの共催企画

▼【日時】(2回目)12/16(土)14:00~15:30

【内容】ヤングケアラーケアフル勉強会(2回目)ワークショップ『ヤングケアラーの支援について具体的に考えてみよう!』【講師】岩金俊充(認定社会福祉士(児童・家庭分野)/公認心理師)

▼【日時】2月で調整中【内容】他団体との共同研修会

▼【日時】1月で調整中【内容】新入会員歓迎会&会員交流会

▼【日時】未定【内容】会活動オリエンテーション

柳井市・周防大島町・田布施町・

平生町・上関町ブロック

▼【日時】12/8(金)19:00~20:30【形式】オンライン【内容】「8050 問題について(仮)」【講師】中島紫(山口県精神保健福祉センター)、長岡信也(柳井市健康福祉センター)

【申込フォーム URL】

<https://ws.formzu.net/dis/t/S74643076/>



【詳しくは】ホームページをご覧ください。

▼【日時】2/9(金)19:00~20:30【形式】オンライン【内容】令和6年度のブロック活動計画について

▼【日時】未定【内容】新入会員歓迎会&会員交流会

▼【日時】未定【内容】会活動オリエンテーション

岩国市・和木町ブロック

▼【日時】12/16(土)19:00~20:30【形式】オンライン【内容】支援者のココロをラクにする「アンコンシャス・バイアス」【講師】森和美(精神保健福祉士・公認心理師)

【申込フォーム URL】

<https://ws.formzu.net/dis/t/S61293395/>



～ 支援者のココロをラクにする
「アンコンシャス・バイアス」～

2023年
【日時】12月16日(土)
19:00~20:30

【形式】Zoomミーティング

<参加費>
①社会福祉士会員(無料) ②非会員(500円)
<申込期>
12月13日(水)正午までに
所定のフォームからお申込みください。
<お申し込み先>
TEL (083) 928-664 (山口県社会福祉士会)

【主催】山口県社会福祉士会 岩国市・和木町ブロック

「アンコンシャス・バイアス」とは
「無意識の思い込み」などから起こりますが、「差別」という言葉がなじみづらいかもしれません。福祉分野で働く「福祉」に働きかけ、自分自身の心にも向き合えるようになります。本会の活動だけでなく、福祉の人達にだけでなく、「アンコンシャス・バイアス」の学びを通して、心の持ちようを伝え、信頼性を高めていくことが大切です。

森 和美(花江 かずみ)
精神保健福祉士・公認心理師

★申し込みフォーム

【詳しくは】ホームページをご覧ください。

▼【日時】2/16(金)19:00~20:30【形式】オンライン【内容】「他職種(リハビリ他)とのコラボ研修

▼【日時】未定【内容】会活動オリエンテーション

最新情報は、ホームページで確認しましょう!

各ブロックへの入口のページは、こちらです。
活動内容など掲載していますので、ご覧ください。

<https://www.yamaguchicw.com/reiwa-1.htm#7>





公益事業部

活動のご案内



司法ソーシャルワーカーの養成機関の立ち上げに向けた準備会

『令和5年度 罪に問われた障害者・高齢者の支援に携わる福祉関係者のための四会合同研修会～多職種でつなぐ支援の輪～』

本会・山口県弁護士会・山口県精神保健福祉士協会・山口県社会福祉協議会の四会では、罪に問われた高齢者、障害者の被疑者・被告人段階における福祉的支援（いわ ゆる入口支援）における、専門職の制度的連携を実現するため、平成27年6月から四会連携運営会議を設置し、連携をすすめてきました。その一環として、平成28年度から、司法と福祉の 連携の推進に向けた合同研修会を共同開催しているところです。

本研修会では、刑事司法手続の入口段階から矯正施設を経て社会復帰するまで、様々な専門職 が関わった事例を通して、各専門職の役割や支援に必要な視点、連携方法等を学ぶことを目的に開催いたします。

【日時】令和6年2月8日（木）午前10時から午後4時20分まで【会場】山口県社会福祉会館4階大ホール【参加対象者】各会会員、社会福祉施設役職員、社会福祉協議会役職員、福祉専門職団体関係者、犯罪行為者の支援に関わっている方、行政関係者、その他関心のある方【参加費】無料【定員】80人（先着順）【プログラム】①『刑事司法領域における対人援助の基本～当事者と援助者の共助する関係～』（水藤昌彦：山口県立大学社会福祉学部/教授）、②『事業説明』更生支援に携わる専門領域の取り組み、③『パネルディスカッション～事例から学ぶ～多職種でつなぐ支援の輪～』、報告者（予定）：岡田 卓志（岡田法律事務所/弁護士）、佐々木愛美（西京社会福祉士事務所/社会福祉士）、木村均（山口保護観察所/統括）、嶋田智衣（山口刑務所/福祉専門官）、山口更生保護会（調整中）、岡村真紀（高嶺病院/精神保健福祉士）、山口県地域生活定着支援センター、コーディネーター：（水藤昌彦：山口県立大学社会福祉学部/教授）

【申込 URL・期限】

令和6年1月29日（月）まで

<https://forms.office.com/r/qmWu8mb3jM>



※お預かりした個人情報は、本研修の運営目的以外では使用いたしません。

【詳しくは】ホームページをご覧ください。

スクールソーシャルワーク委員会

『令和5年度 SSW 研修』

IT技術の躍進により私たちの生活はずいぶんと便利になりました。その恩恵を得て離れた場所でも容易にコミュニケーションをとることが可能となりました。一方でSNSによるトラブルは増加傾向にあるのではと思います。それらのことを踏まえ、今回はSNSでのいじめやコミュニケーション技術について、皆さんと一緒に学びを深めていきたいと考えました。なお、久しぶりの「対面形式」で開催させていただきます。

【日時】令和6年2月25日（日）9:00～12:30

【会場】山口県セミナーパーク205研修室【プログラム】「SNSいじめについての現状」講師：山本康嗣（山口県警察本部/生活安全部少年課 課長補佐）、「対人援助の普遍的次元～対話へのプロローグ」講師：原田雅史（臨床心理士・公認心理師）

【参加対象者】本会所属会員で SSW 従事されている方、SSW に関心のある方他【参加費】2,000 円、会員外 3,000 円【主催】本会、山口県精神保健福祉士協会【後援】山口県教育委員会（申請中）【申込締切】2/16日（金）12時まで

【申し込み URL】

<https://ws.formzu.net/dist/S85703943>



※お預かりした個人情報は、本研修の運営目的以外では使用いたしません。

【詳しくは】ホームページをご覧ください。

Google カレンダーで、活動予定をチェック！

本会の活動予定は、Google カレンダーで確認できます。ご活用くださいませ。

https://www.yamaguchics.w.com/new11_kennshu.ibe nto_top.htm





ブロック活動部 活動報告



岩国市・和木町ブロック 『研修会』

▼テーマ:「独り暮らしの認知症高齢者の支援」▼講師:大谷和香子(岩国市高齢者支援課 認知症地域支援推進員)▼日時:10/20(金)19:00~20:30分▼方法:オンライン▼参加者:8名(内、本会員8名)▼報告者:山根茂樹(ブロック長)

▼報告:今回のブロック研修は、支援困難事例の多い「独り暮らしの認知症高齢者の支援」をテーマに、高齢者支援課の認知症地域支援推進員としてご活躍されている大谷様よりご講演いただきました。

お話の内容は、①岩国市の状況 ②岩国市の認知症施策 ③事例紹介の3点について、スライドを使いながら分かりやすくご説明いただきました。

1点目の岩国市の状況については、全国共通課題でもある急速な高齢化(令和5年4月現在の高齢化率36.3%)に伴い、コロナ禍も相まって、相談件数は増加傾向にあることが報告されました。

2点目の認知症施策については、認知症理解や予防の推進はもちろんとし、とりわけ強化が叫ばれているのが、認知症の人とその家族への支援体制であること、その柱として、「相談体制の充実」と「医療と介護の連携強化」の2本柱を掲げ、「認知症相談会」「認知症支援検討会」「認知症初期集中支援チーム」等の具体的な取り組み内容についてご報告いただきました。

3点目の事例紹介では、コロナ禍で他県に住む長男の協力が得にくくなり、定期受診が中断しているケースについて、本人の状況が悪化し、認知症初期集中支援チームが介入した事例が紹介されました。関係機関や地域の社会資源との連携や、遠方だから家族の支援は得にくいからと連携を弱めるのではなく、治療継続や生活支援の必要性を家族にもしっかり理解してもらい、しっかりと協力関係を構築していくことの重要性についてお話いただきました。

講師のお話の後には、いつも通り参加者からの質問や感想の時間を持ちました。

参加者からは、「どのような経路で相談が寄せられるのか」「独り暮らしの受診の支援に包括等はどのように関わっているのか」「(ケアマネとして)担当ケース

がほとんど認知症で、独り暮らしのケースは服薬をはじめ、生活支援の上でたくさん確認することがある」「受診の支援については、自費サービスの社会資源に助けられている」「身寄りのない人は死後事務の問題もある」等、その場ですぐに答えの出ない質問もありましたが、服薬管理について、本当に大事な薬が飲めるように、多剤処方の見直し(飲む回数を減らす)の工夫を主治医と相談して行っている等、活発に意見交換がなされました。

独り暮らしの認知症高齢者の支援は、今後もさらに支援の必要性が増していくため、支援者及び家族は、決して一人で抱え込むことなく、関係機関や社会資源との連携・活用がより一層求められていることを痛感する有意義な研修となりました。

柳井市・周防大島町・田布施町・平生町・上関町ブロック

『10月しゃべりBAR in サザンセト』

▼テーマ:「児童相談所の現状」▼講師:中司ひかり(山口県岩国児童相談所/所長)▼日時:10/13(金)19:00~20:30▼方法:オンライン▼参加者:12名(内、本会会員10名)▼報告者:中村あゆみ(ブロック長)

▼報告:10月の「しゃべりBAR」は山口県岩国児童相談所 所長 中司ひかり様を講師にお迎えして開催しました。「児童相談所の現状」をテーマに、管轄地域や職員体制から相談受理後の実際の動き、相談種別などについて詳細にご説明いただきました。

岩国児童相談所は、平成18年に周南児童相談所から分離し、2市5町を管轄しています。県内には6か所の児童相談所があり、広島県の3か所と比較すると多い方だということでした。所長、総務課長、相談課長の他、児童福祉司9名、児童心理司4名が配置され、役割分担のもと業務にあたられています。警察OBによる安全確認員、教員OBによる児童家庭アドバイザーなどの臨時職員、精神科医、令和2年から弁護士にも非常勤嘱託として協力いただいているとのことでした。

相談種別としては養護相談が一番多く、保護者の家出、失踪、死亡、入院、虐待相談、養子縁組等に関する相談以外に、保護者の精神不安定など不調に伴う相談も含まれるそうです。次に多いのは障害相談で、岩国児童相談所では、1日に2~3件は常時相談がある状態とのことでした。

他にも、岩国児童相談所の一時保護率は県内でもトップで、研修当日も13人、多い日で25人位の子ども

が一時保護されているということでした。毎日の様にほとんどの職員の方が現場での対応に追われているとうかがい、児童相談所の多忙さは想像以上だと感じました。

視覚的に見やすく整理し、丁寧に作成されたパワーポイントの資料をもとに、そして、具体的な事例を交えてわかりやすく話し下され、児童相談所の機能や現状、課題についての理解を深めることができました。この学びを、今後の連携や日々の実践に活かしていければと思います。ありがとうございました。

もい場所」「普段家では野菜を食べないけど、れんげホームでは頑張って食べているみたい」等、深い信頼を寄せる言葉もあった。

子どもは子ども同士で食事を共にし、地域住民同士でコミュニケーションを取ることができ、情報や悩みの共有ができることによって、地域の中で助け合うことができるようになる。

このようにこども食堂では皆で楽しく食事をする場としてだけではなく、地域の拠点としての役割をも担っていると感じた。

下関市ブロック 『子どもの居場所づくり』



▼テーマ: (「川中れんげホーム(子ども食堂)」見学) ▼日時: 10/21(土) 11:00時~13:00 ▼方法: 下関市川中公民館へ訪問 ▼参加者: 5名(内、本会会員5名) ▼報告者: 朝原博順(副ブロック長)
▼報告: 川中れんげホームへ到着するとたくさんの子どもたちが活き活きとハロウィン装飾づくりを楽しんでいた。優しく装飾づくりを手伝っている大学生、それ以外の好きなことを自由に楽しんでいる子どもたち等、空間内の全てが安心して過ごすことができる居場所となっていた。「川中れんげホーム」は毎月の第3土曜日10時~15時に行われている。LINE 公式アカウントからもイベント情報、スタッフ紹介等を知ることができる。「川中地域が大きな家族のように」と言う強い願いを持った約20名のスタッフ(地域住民)の変わらぬ姿勢の影響か、今では約60名の子どもたちの登録がある。子どもたちは目を輝かしながら、「おばあちゃんとおじいちゃんがやさしい」「ほかの学年の人とあそべたのしい」「高校生になっても来たい」「大学生の方は話しやすい」等の言葉を発し、保護者の方からは「いろいろな人とふれあえるので子供たちにとって

山口・美祢市ブロック

『会員による片付けボランティア活動』

▼日時: 11/14(土) 8:30~11:30 ▼参加者: 12名(内、本会会員8名) ▼報告者: 須原志保(ブロック長)

▼報告: きっかけは今年7月12日のブロック研修で山口市の基幹型ふくまる相談室の松永氏のお話からでした。複合的な課題を抱えSOSをあげることもできずゴミのたまった部屋での不安な生活を余儀なくされているクライアントに対し、松永氏自ら信頼関係を築き部屋を片付け寝床を作るなどの、個別性、思いやり溢れる実践にふれたときでした。「ブロック会員が応援にかけつけて一緒に片付けをするボランティア活動というのでもいいかもしれない」との尾中理事の発案に、参加者からも「実現できるといいね」との意見があがりました。

そして実現した第1回。グループラインでのよびかけで8名の会員が参加。当日朝、市内某所で役割分担を打ち合わせいざご自宅へ。部屋の中は雑誌とペットボトルの殻でぎゅうぎゅうで人の入る余地がない状態でした。当初大勢の来訪に圧倒、戸惑われているご様子のクライアントに、担当者が懇切丁寧に、今日きている人たちはおふたりの暮らしを応援している味方であること、今日の目標「寝床を作る」こと、同意をいただきながら範囲を限定しておこなうことなどについて説明する姿が印象的でした。そしてはじまった好天下の2時間半の作業。部屋からの搬出班と外での分別班に分かれチームワークを発揮。気付けば外野でみていたクライアントもいきいきした表情で一緒に作業に加わっていました。その姿はおそらく参加した会員の脳裏に一番のおみやげとして焼き付いたことと思います。

時にこうしてクライアントと時間をともにし、同じ方向をみて作業をするということも、信頼関係を作り、生きる力を引き出すために大事なプロセスだなと実感した

半日でした。

また会員の方で仲間のお手伝いがあることがありましたらお気軽にご相談ください^^



好天下の作業で汗だくながらもチームワークを発揮する参加者



終わって打ち上げにゴー🍷労働のあとのいっぱいがまたおいしかったです

『コト・モノ・ヒト』と題して、岩金さんに事例を交えながらお話をいただきました。しっかり準備をして頂いた多くの資料に加え、ユーモアな表現などを用いて、時に笑いを交えながらの楽しいお話は時間があっという間に過ぎ去り、「ヤングケアラー」について触れ、考えることができた貴重な時間となりました。

紹介頂いた事例に関しては、複数の問題・課題を抱えており、チームで対応する中で少しずつでも状況の改善が見られたことから、当事者を取り巻く多くの支援者同士がそれぞれの立場で行えることを集結させ、『人類愛』をもって対応をしていくことを学ばされました。

また、これまでの研修会において当事者の方からお話を聞き、支援者中心の偏ったものではなく、本当に必要とされる支援体制の構築を目指す必要があります。

講演の中で、それぞれの立場におけるヤングケアラーに気づくポイントに関して具体的な項目を教えていただき、今後は気付きの目を増やし、さらに繋げていくことで、地域・社会全体で支えていける仕組みを作っていければと改めて感じさせられました。

当事者を取り巻く支援者・関係者や社会資源など地域格差はあると思いますが、住み慣れた地域で暮らし続けることができ、誰にもやさしいまちにしていけるよう、専門職としての今後の活動実践が求められていると思います。

次回、二日目として12/16(土)14:00~15:30 ワークショップ『ヤングケアラーの支援について具体的に考えてみよう!』を予定しています。

興味がある方、一緒に活動をしていこうと思っていた方は、ぜひご参加ください。

周南市・下松市・光市ブロック

『研修会』

▼テーマ:ふくしのどようがっこう in 防府 ヤングケアラーケアフル勉強会 ▼講師:岩金俊充(いわかね社会福祉士事務所/代表) ▼日時:11/11(土)14:00~15:30 ▼方法:会場/オンライン ▼参加者:34名(内、本会会員6名) ▼報告者:白井智寛(ブロック長)

▼報告:昨年度から他団体との共催という形で取り組み、今年度も引き続き8月に周南会場で研修会を開催しました。今回、これらの活動をさらに発展させる目的とし、防府市ブロックの御協力も得て、防府市でも実施することができました。二段階で学ぶ勉強会となっており、今回(一日目)は講演会方式で、『ヤングケアラー支援の実際とそこから見える:支援に必要な



公益事業部

活動報告



権利擁護センターぱあとなあ山口

『山口・萩・防府圏域勉強会』

▼テーマ:成年後見制度の申立てについて ▼講師:濱田隆弘(中山法律事務所/弁護士) ▼日時:10/20(金)19:00~20:30 ▼方法:オンライン ▼参加者:27名(内、本会会員27名) ▼報告者:田村成昭、大庭淳(山口萩防府圏域勉強会担当者)

▼報告:ばあとなあ会員の皆さんはどこかの福祉施設や行政、独立した社会福祉事務所などで福祉的支援活動をされていると思います。その支援の一つとして成年後見人制度利用を考え申し立ての支援をされたこともあるのではないかと思います。2000年に成年後見人制度が始まり23年経ちます。制度も広く社会に浸透しています。そこで、改めて制度利用のスタートである申し立ての手続きについてどのような点に注意して支援したらよいかを濱田先生の講義を受け、また研修に参加された方々の話を伺いながら学びました。

研修の中で印象に残った点としては、

- ①申し立ては四親等内の親族もできるため、この中に何かしらの協力できる方がいると、成年後見制度の活用につながる。
- ②本人申し立ての支援をする場合、成年後見制度を利用することは本人の保護になる一方で、権利の制限にもつながる。依頼された弁護士が本人に何度も会い、また例えば入所している施設の相談員や看護師、医師といった方たちとも一緒に本人に話をし、申し立てするか否かの確認をしている。
- ③市民レベルでの成年後見制度の活用が推進されているが、成年後見制度以外の支援制度等(例えば介護保険制度)の活用を探り、成年後見人制度は最終手段として活用する、という方向に変わってきている。

ご講義いただいた濱田先生、参加された27名の会員の皆さん、ありがとうございました。

委員長)

▼報告:例年行っている「高齢者虐待関係者研修会」ですが、今年度はコロナ禍後ということもあり3年ぶりに集合で行いました。今年は新たな委員と一緒に、有意義な研修となるよう3回に渡り企画会議を行いました。

当日は行政職員や包括支援センター職員の中で配属1年目など高齢者虐待対応の経験が少ない方にも多く参加していただきました。行政より高齢者虐待対応状況調査の概要を説明していただいた後、板村弁護士より今年度改定された高齢者虐待対応マニュアルについて解説していただきました。事例検討では、現場で遭遇する場面を想定したワークを行い、それぞれの経験を交えた意見交換を行いました。

集合研修ならではの所属を超えた意見交換・情報交換が行えて、改めて対面で行うことの意義も感じた研修でした。



委託事業部

活動報告



高齢者権利擁護推進委員会

『高齢者虐待対応関係者研修会』

▼目的:高齢者虐待防止法に基づいて、行政・地域包括職員等の関係者が適切な対応が行えるための実践力向上を図るための研修▼講師:綿原勇輝(山口県)、板村憲作(弁護士法人いたむら法律事務所)、上野綾乃(防府北地域包括支援センター/センター長、本会/副会長)▼日時:11/20(月)10:00~16:00▼会場:山口県セミナーパーク▼参加者:62名▼報告者:内藤誠(高齢者権利擁護推進委員会

キャリア教育推進委員会

『社会福祉士実習指導者講習会』

▼日時:10/22(日)9:45~18:00、10/29(日)9:00~17:15▼会場:山口県立大学▼参加者:52名▼講師・内容:<一日目>「実習指導概論」内田充範(山口県立大学/社会福祉学部/教授)、「実習マネジメント論」:尾中未来(済生会山口地域ケアセンター居宅介護サービス 複合施設には苑・特別養護老人ホームには苑/副施設長)、実習プログラミング論」上野綾乃(防府北地域包括支援センター/センター長)<二日目>「実習スーパービジョン論」梅木幹司(至誠館大学/現代社会学部/教授)▼報告者:則近あゆみ(キャリア教育推進委員会委員長)

▼報告:

社会福祉士新実習カリキュラムに移行し、初めての実習指導者講習会を10/22(日)・29日(日)の2日間で開催しました。

1日目は講義、2日目は演習を中心に行い、講義と演

習を連動させながら、学びを深めていただきました。特に2日目の演習では、スーパービジョンの機能(管理的・教育的・支持的)を意識しながら、どのように実習生に声かけを行えば良いのかロールプレイを行ったり、指導者としての不安や、日頃の実践、目指したい指導者像等、グループ内で活発に意見交換が行われていました。

沢山の方に参加申し込みを頂いたため、残念ながら今年度受けていただくことが出来なかった方もいらっしゃると思います。是非、来年度以降で開催されるときに、再度お申し込みをいただき、社会福祉士の後進育成にご尽力頂ければと思います。



e-ラーニング講座



日本社会福祉士会では、e-ラーニング講座を開講しています。講座は「基礎研修関連講義」、「制度等の動向」、「生涯研修」、「情報提供等」に分かれていて、新しい講座が増えています。当会では、基礎研修の受講(一部)にあたり、e-ラーニング講座を導入しています。

e-ラーニングってなんですか？

e-ラーニングとは、パソコンやモバイル端末などの電子機器やネットワークを利用することによって、場所や時間、学習内容を問わず自分のペースでスキルアップを行うことができる学習システムです。

e-ラーニングのメリットは？

○効率的に学習することができるなどのメリットがあります。

・時間や場所を選ばず学習できるので、自分の都合に合わせやすいです。

・もう一度聞きたい、続きは次回に、といった感じで、

自分のペースで学べます。

・講座の中には課題が設定されているものもあるので、理解度を確認できます。

お金がかかりますか？

山口県社会福祉士会では、所属正会員のみなさまに、より多くの学びの機会を提供するため、本会が視聴料を負担していますので、一講座約2,200円必要なところ、**無料!!**でご利用いただけます。

但し、一部の有料講座の視聴料は自己負担となります。また、サイト閲覧するための通信料金は各自でご負担いただきますようお願いいたします。

視聴するには？

日本社会福祉士会ホームページの「e-Learning 講座公開中!」をクリック

<https://www.jacsw.or.jp/>



登録募集中!



ネットワークリスト

「顔の見えるつながり、顔の見える社会福祉士会」を目指し、2014年度より「山口県社会福祉士会ネットワークリスト」を作成しております。

登録すると、毎年自動継続更新され、年1回(6月末締め)最新情報のリストが配布されます。ぜひ、本取り組みを活用して、社会福祉士の仲間とネットワークを築きましょう。

【申込 URL、二次元コード】

<https://ws.formzu.net/dist/S48878852/>



災害支援協力員

災害支援活動協力員登録制度は、万が一、大規模災害が起こったときに、当会として迅速かつ円滑に災害支援活動を行えるよう、平時においてあらかじめ災害支援活動に協力できる者を登録する当会独自の制度です。

【申込 URL、二次元コード】

<https://ws.formzu.net/dist/S58865458/>



社会福祉士人材バンク

1 社会福祉士人材バンク名簿登録の目的

(1) 社会的認知の拡大

社会福祉士人材バンク名簿登録者をホームページ等で公開することによって、社会福祉士の存在を社会に周知することができます。これは、社会福祉士の社会的理解を広めることに寄与します。

(2) 社会福祉士へのアクセスの向上

社会福祉士という名称は知っていても、どこにいるのか、何を担っているのか、どのように相談すればよいのか知らない人が多いのが現状です。専門的支援を必要としているご本人や親族の方々、地域の人々、専門職、行政等が、社会福祉士に直接アクセスできる環境を整えます。

(3) ネットワーク構築

社会福祉士がどこでどのような活動をしているのかわかることによって、社会福祉士同士及び他職種や異業種とのネットワークを構築できる環境を整えます。

2 人材バンク登録要件

山口県社会福祉士会の会員であり、人材バンク登録者名簿の公開に同意した者。

3 人材バンク登録者名簿情報の公開

・人材バンク登録者の名簿情報は、本会ホームページ等にて一般公開します。

・公開用の情報は、様式第1号「社会福祉士および事業所の概要」を活用します。

4 登録用紙

本会ホームページからダウンロードできます。

[人材バンク \(yamaguchicsw.com\)](http://yamaguchicsw.com)



住所・氏名・勤務先 変更届



住所、氏名、電話番号、勤務先、電子メールアドレス、などの「会員情報」に変更がありましたら、お手数ですが、山口県社会福祉士会へ変更のお手続きを行ってください。

■ヤマト DM 便は、転送されませんよ！

本会は、主にヤマト DM 便にて皆様へ発送しております。この DM 便は、お引越しによる転送サービスはありませんので、ご留意ください。

■勤務先が変わった時も変更届を！

市町等から審査会や協議会の委員等の推薦依頼があり、勤務地限定で委員募集の案内をお届けする場合もあります。また、勤務先種別、職種の統計データを参考に事業内容を検討することもあります。

■変更届の様式！

以下に掲載している二次元コードもしくはURLから、所定のフォームにアクセスし、必要事項を入力してください。

【入退会(所属の変更)・変更届/
会員証再発行申込フォーム URL】

<https://ws.formzu.net/dist/S65491866/>



会員のしおり



『会員のしおり』は、山口県社会福祉士会の活動をお知らせするとともに、山口県社会福祉士会に入ることので得られるメリットを紹介する冊子になっています。山口県社会福祉士会の活動を通じて、自分自身の立ち位置や自分なりのメリットも見い出だしていただければ幸いです。そして、山口県社会福祉士会・社会福祉士を社会に広くアピールしていきましょう。



最新情報を発信中



正会員 会費の ご案内



山口県社会福祉士会が主催する研修、会議、地域のイベントなど、情報を発信しています。



■会費について

年会費 15,000円

- 会費収納は、ご指定の口座より自動的に引き落とされます。
- 会費は、毎年4月より翌年3月までの年度制になっています。
- 口座引落手数料(110円+消費税額分:現在121円)は、個人負担となります。
- 年会費2年滞納となりますと会員資格喪失となります。
- 会員資格喪失後も未納分の支払い義務は残ります。

■引落時期について

4・7・10月の12日(12日が土・日・祝日の場合は金融機関の翌営業日に引落)

- 「資金不足」の理由で、4, 7, 10月に引落ができなかった方は、振込による納入をお願いします。
- 「資金不足」以外の理由で引落ができなかった方は、引落口座を一旦停止し、口座振替依頼書の再提出をお願いします。10月引落時期までに手続きが完了しなかった場合は、振込による納入をお願いします。

■自動引落について

会費の納入は、自動引落で!

本会では、会費納入は金融機関口座からの自動引き落としにてお願いしております。当会の事務処理コストの削減と簡略化に向けて口座振替へのご協力を頂きますようお願い申し上げます。



皆様と共に 歩み続ける会へ



【お問い合わせフォーム URL】

<https://ws.formzu.net/dist/S49437823/>



皆様と共に歩み続ける山口県社会福祉士会を目指しています! 当会ホームページに、『お問い合わせフォーム』を設置しています。当会の取り組みに関してわからないこと、ご意見や要望などありましたら、お気軽にお問い合わせください。



会員入会状況

(2023年10月末現在)



- 全国会員数 45,598名
- 本会の会員数 724名
- 今年度新入会累計 38名
- 今年度賛助会員数 個人1名、法人3
- ブロック別会員数
- 岩国市・和木町 64名
- 柳井市・周防大島町・田布施町・平生町・上関町 52名
- 周南市・下松市・光市 125名
- 山口市・美祢市 163名
- 防府市 56名
- 宇部市 62名
- 山陽小野田市 39名
- 萩市・長門市・阿武町 53名
- 下関市 110名



行事予定

(12月～3月)



12月

- 02日(土) ぱあとなあ山口委員会議
- 02日(土) ぱあとなあ山口全体会議
- 02日(土) ぱあとなあ山口&弁護士会との連絡協議会
- 06日(水) 第8回子ども権利擁護推進委員会議
第5回アドボケイト定例会議
- 07日(木) 障害者虐待防止・権利擁護研修(管理者・設置者/虐待防止責任者コース集合研修日)
- 08日(金) 萩市・長門市・阿武町ブロック活動
- 08日(金) 柳井市・周防大島町・田布施町・平生町・上関町ブロック活動
- 09日(土) 基礎研修Ⅲ
- 09日(土) 子どもアドボカシー実践講座1日目
- 10日(日) 子どもアドボカシー実践講座2日目
- 11日(月) 第4回業務執行理事会議

- 12日(火) 障害者虐待防止・権利擁護研修(管理者・設置者/虐待防止責任者コース集合研修日)
- 16日(土) 第3回通常理事会
- 16日(土) 基礎研修Ⅱ
- 16日(土) 岩国市・和木町ブロック活動
- 20日(水) ぱあとなあ山口業務監査委員会議
- 22日(金) 障害者虐待防止・権利擁護研修(管理者・設置者/虐待防止責任者コース集合研修日)

1月

- 10日(水) 第9回子ども権利擁護推進委員会議
第6回アドボケイト定例会議
- 13日(土) 基礎研修Ⅲ
- 15日(月) 第4回スーパービジョン委員会議
- 17日(水) 第5回障害者権利擁護センター委員会委員会議
- 21日(日) 基礎研修Ⅱ
- 23日(火) 第3回総合企画部会議
- 27日(土) ぱあとなあ山口委員会議
- 27日(土) ぱあとなあ山口全体会議
- 27日(土) ぱあとなあ山口名簿登録更新研修
- 29日(月) 第5回業務執行理事会議

2月

- 03日(土) 第4回通常理事会
- 03日(土) 基礎研修Ⅰ
- 07日(水) 第10回子ども権利擁護推進委員会議
第7回アドボケイト定例会議
- 09日(金) 第5回山口県ソーシャルワーカー連絡協議会
- 16日(金) 岩国市・和木町ブロック活動
- 25日(日) 令和5年度 SSW 研修
- 29日(木) 会報第39号発行

3月

- 02日(土) 基礎研修Ⅲ
- 06日(水) 第11回子ども権利擁護推進委員会議
第8回アドボケイト定例会議
- 09日(土) 基礎研修Ⅱ
- 15日(金) 岩国市・和木町ブロック活動
- 20日(水) 第6回障害者権利擁護センター委員会委員会議
- 23日(土) 第29回定時社員総会&講演会